



## 令和2年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年2月14日

上場会社名 アプライド株式会社

上場取引所 東

コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 南木 眞也

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 令和2年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	23,515	7.9	1,312	42.6	1,322	43.3	844	39.5
31年3月期第3四半期	21,802	4.9	920	16.5	922	17.4	605	20.3

(注) 包括利益 2年3月期第3四半期 849百万円 (39.4%) 31年3月期第3四半期 609百万円 (22.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	331.90	
31年3月期第3四半期	238.30	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第3四半期	15,156	6,728	44.0
31年3月期	15,431	6,018	38.7

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 6,675百万円 31年3月期 5,970百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		15.00		35.00	50.00
2年3月期		20.00			
2年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	2.3	1,400	2.5	1,400	1.9	870	23.4	341.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	2,703,200 株	31年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	2年3月期3Q	157,775 株	31年3月期	157,775 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	2,545,425 株	31年3月期3Q	2,541,110 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益を背景とする設備投資や個人消費の持ち直し、雇用情勢の改善により、緩やかな回復基調で推移致しました。一方で消費税引き上げ後の影響や、海外経済の不確実性などの影響が懸念されており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社グループは、店舗、法人部門並びに技術部門の連携を強化し、ハードとサービスを融合した仕組みの販売に重点を置き、顧客増大と利益創出を推進しました。

パソコン専門店「アプライド」26店舗のうち、20店舗に法人向けソリューションを提案するブースを新設し、店舗内相談会の実施を通して顧客の満足度を高め、Windows10への入れ替えニーズに対応いたしました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするS I営業では、HPC「ハイパフォーマンスコンピューティング」の製造技術を活かした研究開発向けのソリューション営業を推進いたしました。

B to B販売を中心とした特機営業では、店舗及び技術部門と連携したセミナーや展示会でIT需要を喚起し、A I・R P Aを活用したソフトウェアとハードウェアのパッケージ販売により、売上拡大を図りました。

化粧品・雑貨専門店「ハウズ」は九州5店舗、愛知に1店舗の計6店舗で、独自開発商品の展開を軸に、差別化と収益性の向上に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は235億15百万円（前年同期比7.9%増）、利益面におきましては、経常利益は13億22百万円（前年同期比43.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億44百万円（前年同期比39.5%増）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりです。

- ① パソコン・ゲーム事業は、ソリューションを含めた独自商品及びシステム・サービスの提供を行うことにより、他社との差別化を図り、売上高は175億円（前年同期比3.4%減）となりました。
- ② 化粧品・雑貨事業は、「小さな感動」と「生活と寄り添う」をテーマに、プライベートブランド商品の投入や差別化商品を中心とした品揃えの充実を図り、卸売販売を強化したことにより、売上高は57億28百万円（前年同期比69.8%増）となりました。
- ③ 出版・広告事業は、タウン情報誌や季刊誌などの紙媒体発行に加え、デジタルを応用した送客システムやイベントの開催を行うことにより、売上高は2億86百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億75百万円減少し、151億56百万円となりました。これは主に、余剰資金で借入金の返済を進めたことにより現金及び預金が7億73百万円減少し、仕入先の年始営業開始に合わせ、1月上旬の販売見込商品を12月に確保する必要があったことによりたな卸資産が4億74百万円増加したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ9億84百万円減少し、84億28百万円となりました。これは主に、キャッシュ・フロー改善に取り組んだ結果増加した資金で借入金の返済を進めたことにより短期借入金が6億円及び1年内返済予定の長期借入金が2億58百万円並びに長期借入金が4億60百万円減少したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ7億9百万円増加し、67億28百万円となりました。これは主に、堅調な業績伸長により当社グループ過去最高益となったことにより利益剰余金が7億4百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は、44.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では、令和元年11月14日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,478	705
受取手形及び売掛金	6,861	7,016
たな卸資産	1,171	1,646
その他	93	85
貸倒引当金	△141	△201
流動資産合計	9,464	9,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,323	2,371
土地	2,314	2,314
その他(純額)	139	130
有形固定資産合計	4,777	4,815
無形固定資産	62	54
投資その他の資産		
敷金及び保証金	670	610
その他	457	425
投資その他の資産合計	1,127	1,035
固定資産合計	5,967	5,905
資産合計	15,431	15,156

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,746	2,982
短期借入金	600	-
1年内返済予定の長期借入金	882	623
未払法人税等	213	268
賞与引当金	175	88
ポイント引当金	54	61
その他	1,449	1,571
流動負債合計	6,120	5,597
固定負債		
長期借入金	2,815	2,354
長期未払金	470	470
その他	6	6
固定負債合計	3,292	2,831
負債合計	9,413	8,428
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	423	423
利益剰余金	5,254	5,958
自己株式	△87	△87
株主資本合計	5,970	6,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
非支配株主持分	48	53
純資産合計	6,018	6,728
負債純資産合計	15,431	15,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	21,802	23,515
売上原価	16,088	17,236
売上総利益	5,714	6,278
販売費及び一般管理費	4,793	4,966
営業利益	920	1,312
営業外収益		
受取利息	2	1
受取手数料	7	5
協賛金収入	6	3
受取賃貸料	10	11
その他	2	3
営業外収益合計	30	25
営業外費用		
支払利息	25	16
その他	2	0
営業外費用合計	27	16
経常利益	922	1,322
税金等調整前四半期純利益	922	1,322
法人税、住民税及び事業税	282	445
法人税等調整額	30	26
法人税等合計	313	472
四半期純利益	609	849
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	605	844

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)
四半期純利益	609	849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	609	849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	605	844
非支配株主に係る四半期包括利益	4	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。